



しろね図書館だより

No.115

発行 新潟市立白根図書館
平成21年12月発行
(毎月第1水曜日の翌日発行)



早いもので、今年も残すところあとわずか。
クリスマスや年末年始にむけて、
街の空気も華やぐシーズンです。
子どもたちは、プレゼントの予感に
ワクワクしているのではないのでしょうか。
しろね図書館からは、「本を読む楽しみ」をあなたにプレゼント。
この冬も、ココロをあったかくしてお過ごしてください。

【ところ】

しろね図書館
おはなしのへや

クリスマスおはなし大会

クリスマスはもちろん、このシーズンにピッタリのステキなおはなしがいっぱい☆ おともだちといっしょにきてね!

とき 12月19日(土)

- 1回目 2:10 乳児と親子 (整理券不要)
- 2回目 2:30 幼児から (整理券必要)
- 3回目 3:00 幼児から (整理券必要)
- 4回目 3:30 幼児から (整理券必要)

*整理券は当日の2:25から くばります。



利用状況 (改)

	9月	10月	11月
来館者	16,101	14,421	14,277 (人)
貸出冊数	14,566	15,079	15,808 (冊)
予約件数	277	291	309 (件)
ブックパス利用者	321	366	218 (人)
ブックパス貸出冊数	991	1,197	755 (冊)

システム整備のため、正しい数値が出ていなかった9月からの分をのせています。



予約ランキング

ただいま人気の本です。しばらくおまちください。

- 1位 1Q84 1・2 (14名)
- 2位 新参者 (7名)
- 3位 聖女の救済 (6名)
- 4位 パラドックス13 (4名)
- 5位 ペパーミントの小さな魔法 ほか (3名)

小学校高学年
からおすすめ!

図書館員が
おすすめする
この一冊

荻井 智子

冬の龍

龍は、樹木であるケヤキにいった。

「雷の玉は、龍が力を得るための源だが、放っておくと災いをもたらす存在になる。守りたい人間がいるなら六十四年後の、大みそかが新しい年に変わるまでに、玉を探しだすのだ。その日までに間に合わなければ、私にもなすすべはない」と。

六十四年後、龍の話聞いたケヤキは人間の化身となって少年たちの前に現れた――。

玉が見つからなければ絶望の闇が人の心をむしばみ、神田川付近の住民に災いがおこるといふ云われがあるといふのです。古い寺や神社で昔の話を聞いたり、図書館で玉にまつわる文献や昔の地図を調べたりしますが、そう簡単には見つかりません。「九月館」の個性あふれる住人とのふれあいや玉探しを通じてシゲルは、将来の夢や自分の家族について考えます。

物語は、玉探しを縦軸としながら、少年たちの気持ちや友情、成長していく姿が横軸に描かれています。

果たして大晦日までに雷の玉を見つけることはできるでしょうか。ヒントは「大切なことは意外と自分の近くにある」ことを気づかせてくれる物語だといふこと。冬休みの読書に小学校高学年からオススメです!



藤江じゅん作

福音館書店

(ティーンズ 9137)

カレンダーも残り1枚、あちらこちらから「今年もあと〇日」とカウントダウンが聞こえてきます。冬至から大晦日までの間に「雷の玉」を見つけなければ災いがおこる……物語は大晦日に向けて盛り上げていきますから12月にぴったりの物語です。師走の街の様子や季節感も生き生きと伝わってきます。

物語の舞台は東京の早稲田界隈。下宿「九月館」で1人で生活する主人公のシゲル、いつも自分のことは後回しの哲、古書店の息子で古本には詳しい雄治の小6の男の子3人は、ケヤキの化身とともに玉を探すこととなります。

次回の読書会

12月20日(日) 14:00~



一粒の**麦**、
地に落ちて**死**なずば、
唯一つにて**在**らん

塩狩峠

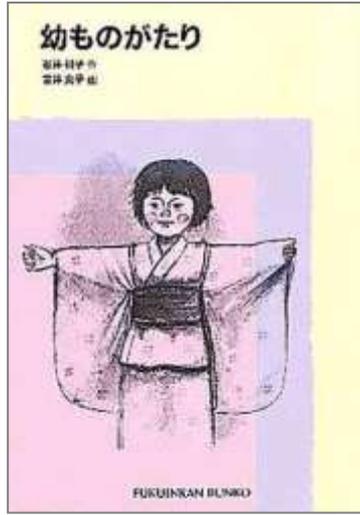
三浦綾子 著 (新潮社)

鉄道職員の永野信夫は、結納のため列車で札幌に向かう途中だった。だが、列車が塩狩峠を上っているとき、突如として客車は離れ暴走し始める。自らの命を賭け、大勢の乗客を救おうとする信夫だが……。明治時代の北海道で本当に起きた鉄道事故を題材に、一人の青年の愛と信仰の生涯を描いた物語。

平成21年11月15日(日) 午後2時

『幼ものがたり』

石井 桃子 著 (福音館書店)



子どもたちのために、たくさんの良書を書かれた石井桃子さん。明治末期の、子どもの頃の思い出を綴る自伝的物語です。幼い日々の記憶が、まるで昨日のこのように、生き生きと蘇ります。あなたの心も、いっしょに子ども時代を旅してみませんか。

★★ 参加者の感想から ★★

- ◆ 挿絵がステキで、家の様子他わかりやすかった。
- ◆ 回顧録ふうに脚色とかなしで、あえて淡々と綴っているのがいっそ潔い。
- ◆ 何かすごい事件が起きるといっわけではないが、あんまり映画なんかではスポットのあたりにくい当時のフツートの暮らしが描かれていて興味深い。
- ◆ 自分の小さいときはどんな子どもだっただろう！ と振り返るきっかけを作ってくれた本。
- ◆ ティーン向けの本だが、大人が読んでもおもしろい。兄弟がたくさんいた時代を知っている人にとっては特にそうだと思う。
- ◆ 子ども頃の記憶が1歳数ヶ月からあるのはスゴイ！ 私の自分自身の記憶は4、5歳くらいからで、こんなにたくさん昔の記憶はない。
- ◆ 姉たちが、いろいろと友だちの家に連れて行ってくれたというくだりがでてくる。自分も年の離れたきょうだいに映画館などに連れて行ってもらったことを思い出す。
- ◆ 自分も4人きょうだいだったので、一番上だけ兄と呼んでは名前前で呼んでいたとか、共感できるエピソードがあった。
- ◆ 昔の結婚は「家と家」だったんだなあとしみじみ思った。
- ◆ 女の子が生まれると桐の木を庭に植え、お嫁に行くときたんすにする、とあってびっくり！
- ◆ それまで、母の祖母に対する不満など聞いたことがなかったのに、「ただ一つ、心にささっていることがある」という表現をしたのが印象的。日本語の表現の深さを感じる。
- ◆ 花、木、において、年中行事の大切を感じる
- ◆ 身近な人々の中に、海外を回っている人や宣教師の人がいて、異国文化にふれることができる環境。当時としてはハイカラだったのだろう。
- ◆ “伊勢屋”が越後出身だったのがうれしい。

Next Contents

次回の読書会

塩狩峠

三浦綾子 著
(新潮社)

本は、図書館カウンターで貸し出ししています。
どなたでも気軽に参加できますので、
どうぞおいでください。

(清水)

ルーム 2

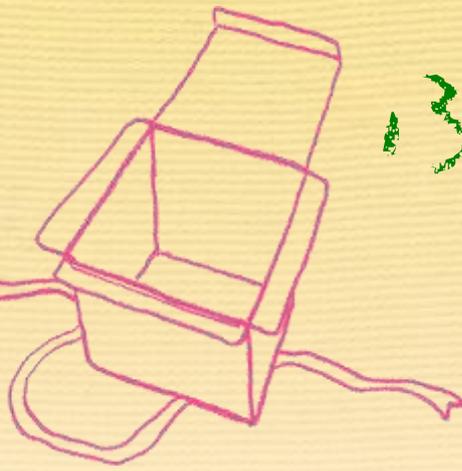
12月20日(日) 14:00~

- ◆ 「鼻があまり高くなって、柱にぶつかるんじゃないかと心配した」ところが笑える。
- ◆ 父が折り詰めのおみやげ……のところ、小さいとき、父親がお寿司の折を持ってきてくれたことを思い出した。
- ◆ 家を中心とする人間関係が豊かな時代だったんだなと思った。今だとわすらわしいのかもしれないが……。
- ◆ 「おだんごころりん」で想像力をふくらませて、いろいろなものをころがすところは、私も子どもたちとやっていった。親子で楽しいお話を作ったりしたので、共感できる。
- ◆ 祖父の存在が大きい。文姉が祖父から昔話を聞き、妹たちに話して聞かせた「かちかち山」。残酷だといわれるが、ここを読むと安心して語れる。
- ◆ たくさんの人々とふれあい、楽しい生活だが、死というものにも触れることが多く、命のはかなさや、大切なども知るのではないか。いろいろなことを経験することが、人としての深さになるんだろうか。

ふしぎな箱

子どもたちといっしょに

こどものとも年少版（福音館書店）
長谷川摂子 ぶん 斎藤俊行 え



この本はクリスマスの絵本です。表紙の夜景に浮かぶ木の箱、これはなんでしょう。男の子がみつけたふしぎな箱の中にはサンタクロースがいました！ 男の子は箱を家にもってかえります。サンタクロースが無事にやってくるのか心配で何度も箱の中をあけていきます。ちゃんとサンタクロースはそりにのって無事に男の子の家にもやってきます。箱の中のサンタクロースを心配する男の子に、家事をしているお母さんが大人と子どものクリスマスを感じさせます。のんびりとした親子の会話の中にもクリスマスという緊張感が伝わり、なんだかとても幸せな気持ちになれます。いくつになってもクリスマスという世界は私たちを楽しませてくれます。お子さんと一緒にクリスマスの本をお楽しみください。



12月の展示架テーマ
この機会に...

待ちに待った年末年始。みなさんはどんな予定を立てているでしょうか？ おでかけもいけれど、本を片手に冬ごもりとシャレこむのもオツなもの。年末年始は、なかなか読めなかったあの1冊を読む絶好のチャンス！ 忙しいときには手を出しづらかったあの全集や、ちょこっと気分を変えて、新しいテイストがほしい時におススメのアイテムなど、あえて今！ だからこそ読んでおきたい本を、各ジャンルからピックアップしました。

12月の行事

12月のおしらせ

- 12月5日(土)
絵本のじかん 14:10～
おはなし会 14:30～
- 12月12日(土)
おはなしかご例会 10:00～
絵本のじかん 14:10～
おはなし会 14:30～
- 12月19日(土)
クリスマスおはなし大会

- 12月20日(日)
読書会(ルム2) 14:00～
- 12月26日(土)
雑誌リサイクル
おはなしかご例会 10:00～
絵本のじかん 14:10～
おはなし会 14:30～



運休

12月～2月の降雪期は、ブックバスの運行をお休みさせていただきます。3月から再開予定です。

12月29日～1月3日まで、年末年始のため休館となります。1月4日より開館いたします。また、これに伴いまして12月15日～28日の間に借りた資料は、貸出期間が3週間となります。年末年始は、ゆっくりと読書をお楽しみください。